



おいしく たのしく すこやかに



森永製菓株式会社

NEWS RELEASE

2025年4月16日

「森永甘酒」ブランドから、アルコール分 0.0%※<sup>1</sup>  
ぶどう糖、クエン酸、塩分を補給できる新しい熱中症対策※<sup>2</sup> 飲料

## 「あまざけウォーター」

4月22日（火）より期間限定で新発売

森永製菓株式会社（東京都港区芝浦、代表取締役社長 COO・森 信也）は、甘酒市場シェア No.1※<sup>3</sup>である「森永甘酒」から、アルコール分 0.0%※<sup>1</sup>でぶどう糖、クエン酸、塩分（ナトリウム）を補給できる新しい熱中症対策※<sup>2</sup> 飲料「あまざけウォーター」を、4月22日（火）より期間限定で新発売します。

※<sup>1</sup>：分析値として0.05%未満

※<sup>2</sup>：熱中症対策には適切な水分・塩分（ナトリウム）の補給が必要です。「あまざけウォーター」に含まれる塩分（ナトリウム）は全国清涼飲料連合会の「熱中症対策」表示ガイドラインの適用の範囲（食塩相当量 0.1～0.2g/100ml）であり、本製品は食塩相当量 0.16g/100mlが含まれています。

※<sup>3</sup>：インテージ SRI+甘酒市場 2024年4月-2025年3月 累計メーカー別販売金額

気温上昇は大きな社会問題であり、温暖化の影響で春と秋が短くなり夏と冬が長くなる「二季化」と言われる現象が起こっており、「暑い」と感じる時期は、年々長くなっています。また、屋外で熱中症により救急搬送される高齢者の数は増加しています。※<sup>4</sup> そのような中、現在「森永甘酒」を購入いただいているお客様は高齢の方が多く、高齢者の嗜好に合う熱中症対策※<sup>2</sup> 飲料として、親和性が高いと考えています。「甘酒」は、俳句の夏の季語でもあり、江戸時代から「暑さ対策」の飲料として親しまれてきた歴史があります。また、当社は2017年から官民一体プロジェクトである「熱中症予防声かけプロジェクト」※<sup>5</sup>を応援しており、長い間「暑さ対策」に取り組んでまいりました。

このたび発売する「あまざけウォーター」は、「森永甘酒」の製造技術を活用し、今までの「森永甘酒」よりも軽い口当たりですっきりとした飲みごたえで、高齢の方にもおいしく飲んでいただける熱中症対策※<sup>2</sup> 飲料です。酒粕のコクと米麹のやさしい甘さを生かした2つの発酵素材を使用しています。酒粕は厳選された酒粕を使用し、アルコール分 0.0%※<sup>1</sup>を実現しました。また、やさしい甘さでぶどう糖、クエン酸、塩分（ナトリウム）を補給いただけます。

気温が高くなり「暑さ対策」が必要となってくる時期に、新しい熱中症対策※<sup>2</sup>の飲料である「あまざけウォーター」の発売により、お客様のウェルネスライフをサポートしてまいります。

※<sup>4</sup> 総務省 消防庁（報道発表資料）（[https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/items/r6/heatstroke\\_nenpou\\_r6.pdf](https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/items/r6/heatstroke_nenpou_r6.pdf)）

### ■「あまざけウォーター」の商品特長

- ① 厳選された酒粕と米麹の2つの発酵素材を使用（アルコール分 0.0%※<sup>1</sup>）
- ② 軽い口当たりですっきりとした飲みごたえ、「冷やし甘酒」と比較し、カロリー-40%オフ（100ml 当たり）
- ③ 1本当たりぶどう糖 6.0～10.0g、クエン酸 200 mg、塩分を補給可能
- ④ 280ml のペットボトルで手軽なサイズで持ち運びもでき、リキャップが可能

### ■商品概要

商品名	あまざけウォーター
内容量	280ml
参考小売価格	オープン価格
発売日	2025年4月22日（火）～ 無くなり次第終了
発売地区	全国/全ルート
ターゲット	日常でおいしく手軽に熱中症対策※ <sup>2</sup> を行いたい中高年のお客様



## ※5「熱中症予防声かけプロジェクト」について

「熱中症予防声かけプロジェクト」は、2011年に発足した、全国の地方自治体や官公庁、企業、民間団体が官民一体で取組む、熱中症予防を目的としたプロジェクトです。「声をかける」というコミュニケーションの力で熱中症による死亡者をゼロにすることを目指す取組です。この取組は、熱中症についての正しい知識の普及を図るとともに、賛同会員（企業、団体、自治体等）がそれぞれの取組を通じて熱中症予防を呼びかけるものです。当社は2017年から「熱中症予防声かけプロジェクト」を応援しております。

### ■ご参考）森永製菓の「暑さ対策」に関するプロジェクト。「おかしな暑さ対策しちゃう課」について

森永製菓グループは、2030年ビジョン「森永製菓グループは、2030年にウェルネスカンパニーへ生まれ変わります」を掲げています。「ウェルネス」とは、「いきいきとした心・体・環境を基盤にして、豊かで輝く人生を追求・実現している状態」と定義し、顧客・従業員・社会に、心の健康、体の健康、環境の健康の3つの価値を提供し続ける企業になることを目指しています。

気温上昇は大きな社会問題で、また、温暖化の影響で春と秋が短くなり夏と冬が長くなる「二季化」と言われる現象が起こっており、「暑い」と感じる時期は、年々長くなっています。「暑さ対策」には、状況に応じて適切な水分・塩分（ナトリウム）の補給が必要ですが、当社はこれまでも、「i nゼリー」「i nタブレット」「冷やし甘酒」「アイスボックス」といった商品を通じて、お客様の「暑さ対策」をサポートしてまいりました。そのような中、暑い夏も「おいしく、たのしく、すこやかに」お客様にお過ごしいただくために、2025年3月に、商品のブランドを横断した新プロジェクト「おかしな暑さ対策しちゃう課」を発足しました。お客様の「暑さ対策」をサポートする商品や情報を本プロジェクトのWEBサイトやリアルな体験機会を通じて発信してまいります。

「おかしな暑さ対策しちゃう課」WEBサイト：<https://www.morinaga.co.jp/atsusataisaku/>

